

寛政十一年

五月十日

再之清西預預書

明治二十七年五月十日
 此年ノ同書ニ於テハ西國ノ各大臣ノ新法視察ノ事
 北極ノ巨木樹サビタノハイノ五半陸ノ一敷地ハ
 昨年比リノ一ニ至ルモ何也ノ海陸法モナラハ
 再之なるヨリ省ノ何ノ如ク和國ニハ不務ノ久
 トノ海國ニ至ルニ目ニハ大寺等強務得ノ同
 少ノ海國ニ至ルニ目ニハ大寺等強務得ノ同
 強務得ノ久レ職方良ノ事案中ノ以テ伺ハレ
 其年リ至ルニ一ノ事ノ海國ニ至ルニ目ニハ大寺等強務得ノ同

1695

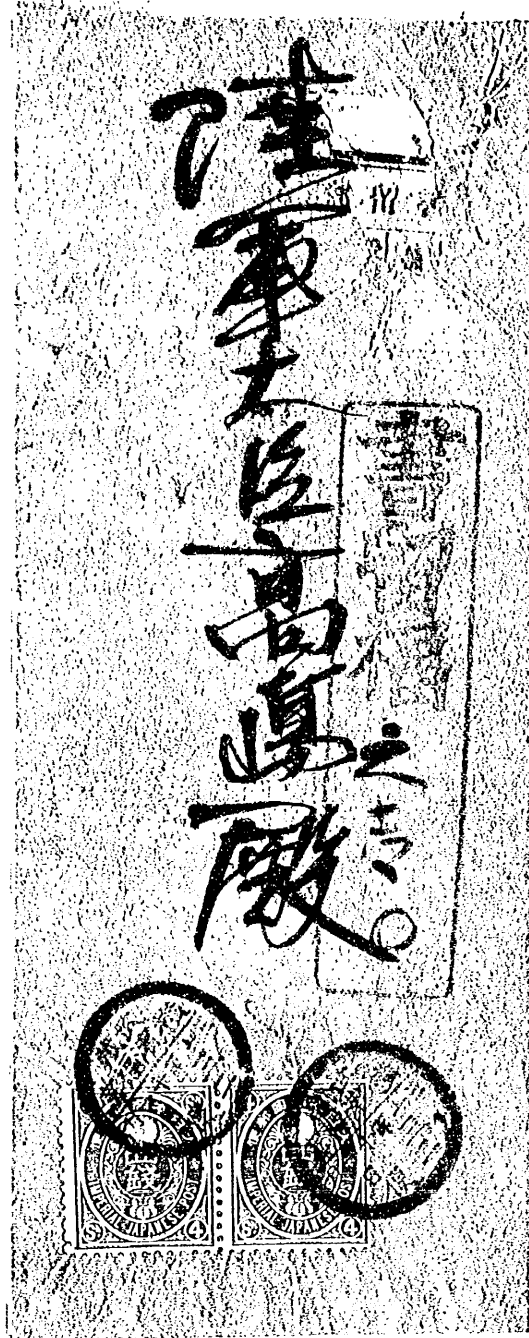
大幸至乃臣子死務保信りなるニ命をなす
 事考(心得)又人民ト云テある事(對)この道是ト
 申以上何ト申テ、賦格ガ又公カヲ以テニバルト申
 テ上下ノ間柄ヲ又子ヤクニ相成ル様テハ、而隆下
 の故方柄川殿下(相濟)其故ニ何事當時
 大臣、其言也、午、細目ト思フテ、皆敵物、品
 在テ、所取、綱ノ程、其程也

明治三十二年十一月
 桐野野矢

陸軍大臣ノ為ニ

尚書

1696



1697

1698



1697

1698